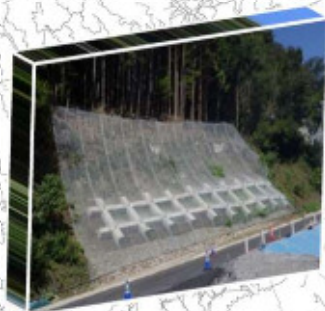
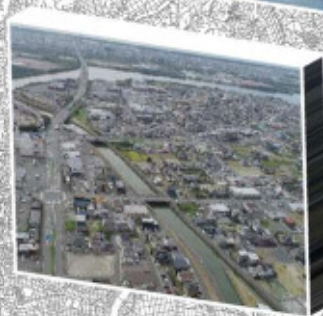


防災・減災、国土強靱化対策 整備事例



未来へかがやく
強くてしなやかなまち
はままつ

(浜松市国土強靱化地域計画)



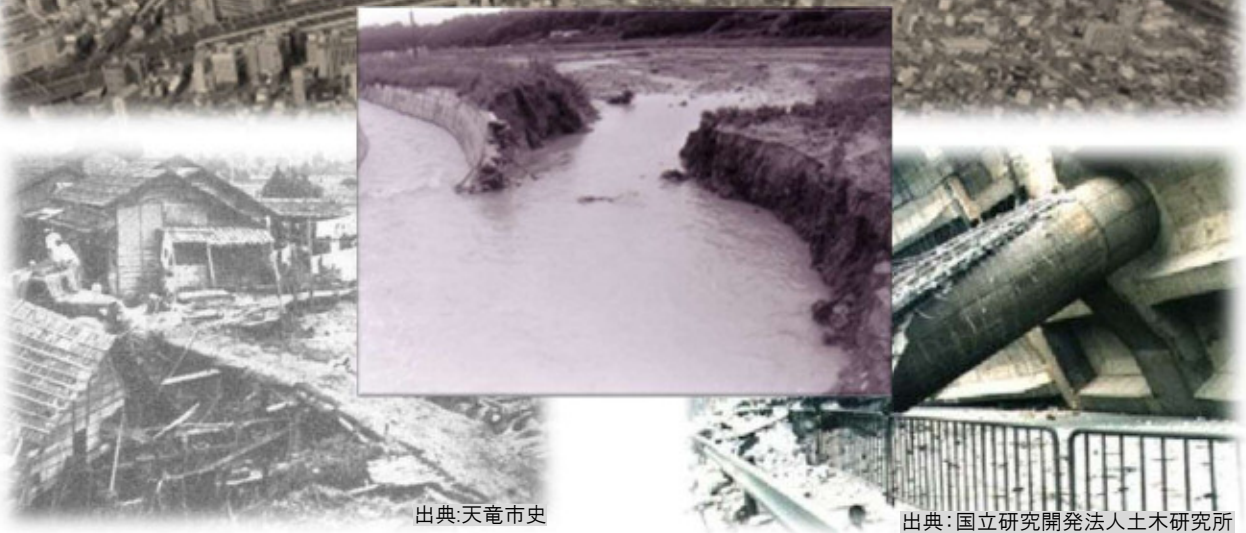
浜松市土木部

国土強靱化とは・・・

大 災害の教訓

度重なる様々な大規模自然災害に対し、その度に甚大な被害を受け、長期間にわたり復旧・復興を図る「事後対策」を余儀なくされてきました。

国土強靱化は、災害に対する事前の備えとして、予断を持たずに最悪の事態を念頭に置き、人命を最大限に守り、また経済社会が致命的な被害を受けず、被害を最小限にして迅速に回復する、「強さとしなやかさ」を備えた安全・安心な国土・地域・経済社会を構築することを目指しています。



国土強靱化推進の枠組

強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法
(議員立法 H25.12.4成立、H25.12.11公布・施行)



浜松市国土強靱化地域計画 (H31.3策定)

01 位置付け

浜松市国土強靱化地域計画は、国土強靱化基本法（平成25年法律第95号）第13条の規定に基づく国土強靱化地域計画として、本市における国土強靱化に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための基本的な計画として定めるものであり、災害対策基本法に基づき本市で想定される災害種別ごとに、応急対策、災害復旧等、災害に係る事務・業務について総合的に定めた浜松市地域防災計画等を踏まえ、災害リスクを特定・評価し、それに対応する施策を位置付け推進する。

本計画は、国土強靱化に係る市の計画等の指針となり、**浜松市総合計画の下支え**となる計画とする。

02 基本理念

本市では、国土強靱化の趣旨を踏まえ、大規模自然災害に係る復旧・復興段階をも事前に見据え、防災・減災と地域成長を両立させた未来かがやく地域づくりを進めるとともに、自然環境・歴史・文化・経済等の地域特性に配慮しながら、安全で快適な生活環境の確保を図ることにより、「**未来へかがやく 強くてしなやかなまちはままつ**」を目指す。

03 基本目標

本市の国土強靱化を推進するにあたり、国の国土強靱化基本計画及び静岡県国土強靱化地域計画に掲げられた基本目標を踏まえ、次の4つを基本目標とする。

- ① 人命の保護が最大限図られること
- ② 地域社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持されること
- ③ 市民の財産及び公共施設に係る被害の最小化を図ること
- ④ 迅速な復旧復興を図ること

04 リスクシナリオ(起きてはならない最悪の事態)

基本目標を達成するため、「リスクシナリオ(起きてはならない最悪の事態)」を設定し、リスクシナリオごとに防災・減災、その他迅速な復旧・復興等に資する施策を整理する。

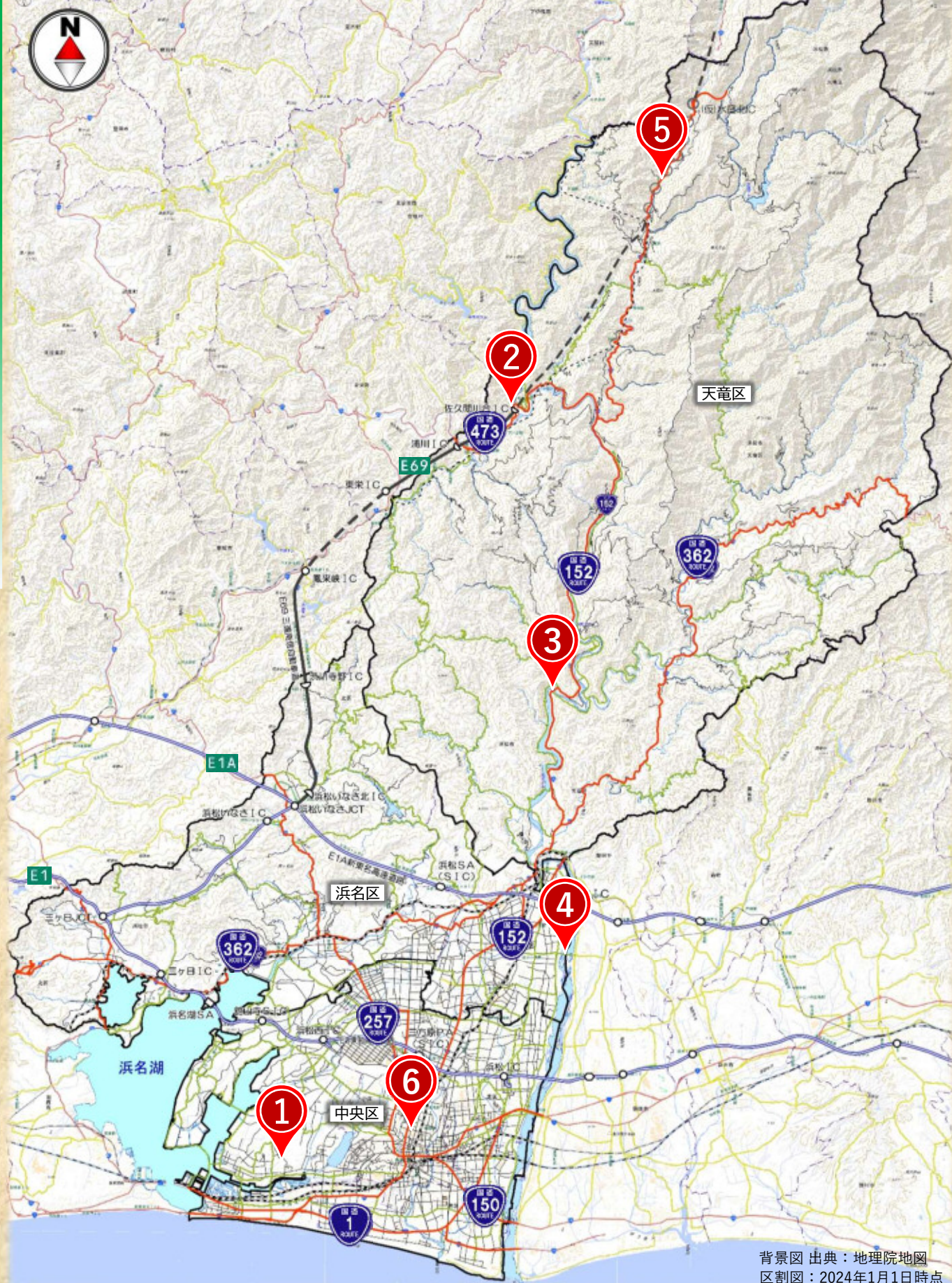
《主なリスクシナリオ》

- ・ 異常気象等による広域かつ長期的な市街地等の死傷者の発生
- ・ 大規模な土砂災害による死傷者の発生
- ・ 緊急輸送路等の途絶により救急・救命活動や支援物資の輸送ができない 等

▼土木行政の施策

- ☑河川の整備（河川改修）
- ☑道路防災対策（斜面对策）
- ☑橋梁の耐震補強
- ☑道路施設の老朽化対策
- ☑IC等と緊急輸送道路を連絡する道路の整備
- ☑電線共同溝の整備（無電柱化）

防災・減災、国土強靱化対策 整備事例MAP



背景図 出典：地理院地図
区割図：2024年1月1日時点

事業箇所一覽

- 
- ① 河川改修 二級河川九領川
 - ② 斜面对策 国道473号
 - ③ 耐震補強 横山橋
 - ④ 老朽化対策 浜北大橋
 - ⑤ 道路整備 国道152号
 - ⑥ 無電柱化 (都)植松伊左地線

事業箇所を
Googleマップで
確認できます！

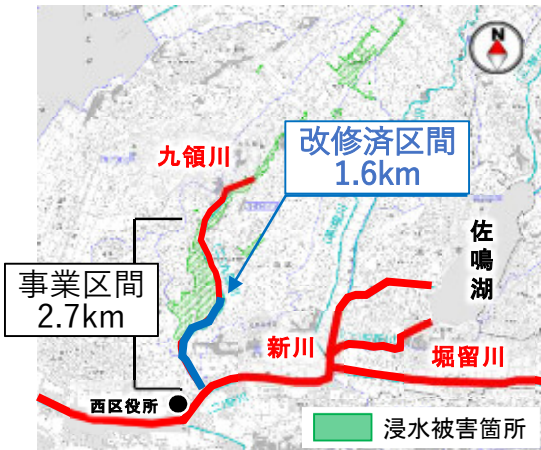


河川改修

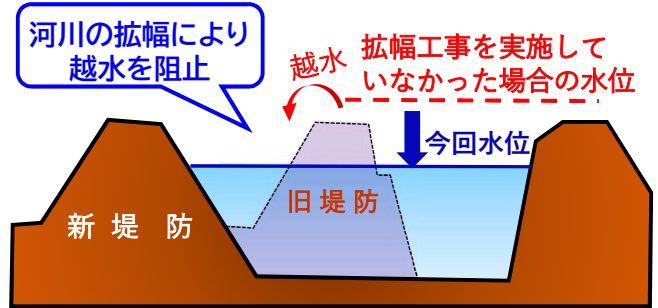
河川の拡幅によって 浸水被害を軽減

- 二級河川九領川の流域には住宅地や工業団地、大型ショッピングモールが立ち並んでいます。
- 川幅を2倍以上に広げ、流せる水の量を増やすことにより、これらの施設の浸水被害の軽減を図っています。
- 令和4年度末時点で下流から1.6kmまで河川の拡幅が完了しており、引き続き上流の改修を進めていきます。

■令和4年7月26日豪雨 浸水被害箇所



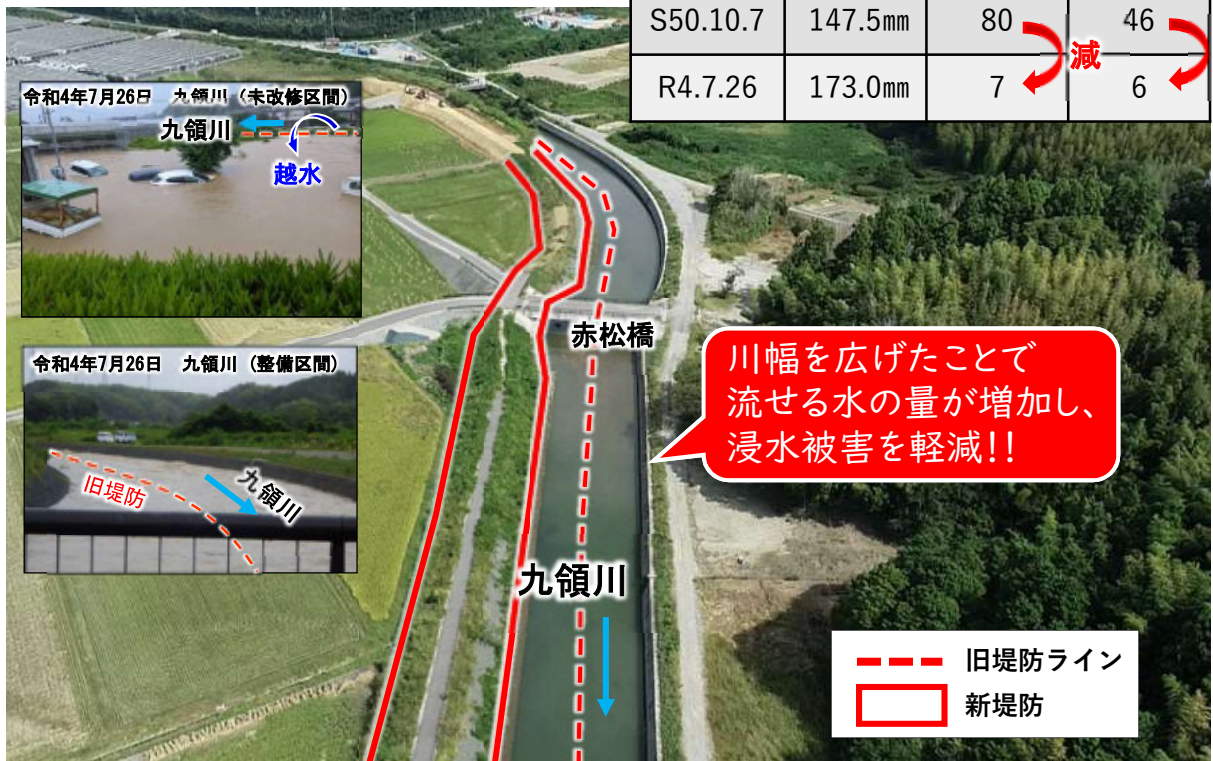
■水位低減効果



※下流側から上流側を望んだ断面イメージ

浸水発生年月日	3時間雨量	床上戸数	床下戸数
S50.10.7	147.5mm	80	46
R4.7.26	173.0mm	7	6

減 減



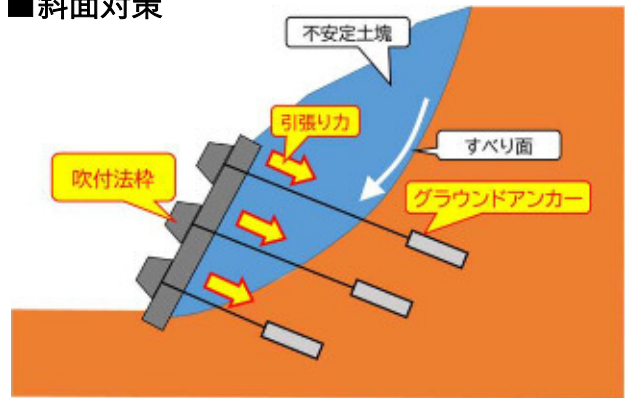
斜面 対策

土砂崩れや落石の対策工事により通行止めリスクを軽減

- 土砂崩れや斜面からの落石への対策工事を実施し、災害による道路の寸断を防止することで、通行止めリスクを軽減するとともに強靱で信頼性の高い道路ネットワークの構築を図ります。
- 国道473号は、平常時・災害時問わず地域の交通を担う重要な道路であり、緊急輸送道路にも指定されています。また、三遠南信自動車道インターチェンジへのアクセス道路として、救急・救命活動や広域物流ネットワークを担う道路です。



■斜面对策



対策前

道路まで到達する恐れのある転石



対策後

斜面对策の実施



斜面对策の完了により、令和2年度に異常気象時事前通行規制区間3.8kmを解除

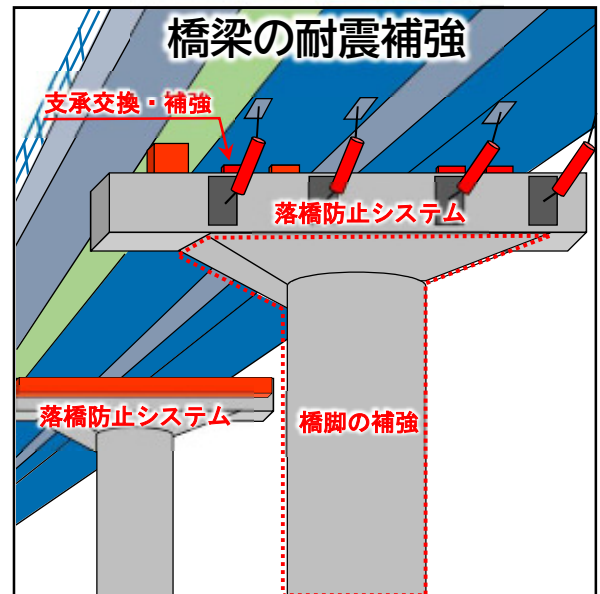
【解除前】規制区間13.6km

↓
【解除後】規制区間 9.8km

耐震補強

地震時の**落橋**を防止し、
有事の際に**交通網**を確保する

- 橋梁の耐震補強工事（支承交換・落橋防止システム）を実施し、地震による落橋を防止することで、緊急輸送道路をはじめとする、防災ネットワークの強化を図ります。
- 国道152号（横山橋 昭和51年架設）は、緊急輸送道路に指定され、平常時・災害時問わず、地域の交通を担う重要な道路です。



・平成8年以前に架けられた橋梁は、地震時に落橋の恐れがある。

※平成7年阪神・淡路大地震を踏まえ、設計基準が平成8年に改定

・支承交換及び落橋防止システムの設置により、大地震でも落橋のリスクを低減できる。

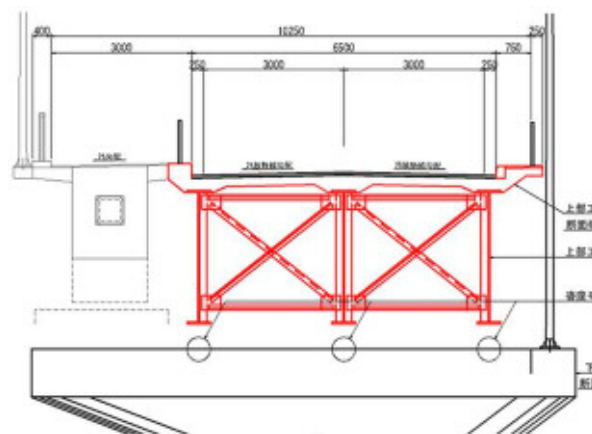
老朽化 対策

安全・安心な道路機能 の維持や適切な管理

- 高度経済成長期に集中して整備された橋梁などが高齢化し、一部では老朽化による破損や変状が見られます。そのため、定期的な点検により、早期に損傷を発見し、修繕工事を実施しています。
- 主要地方道浜北袋井線（浜北大橋 昭和45年架設）は、支承部や主桁部などの劣化が進行していることから、塗替え塗装等の修繕工事を実施することで、緊急輸送道路をはじめとする、防災ネットワークの強化を図ります。



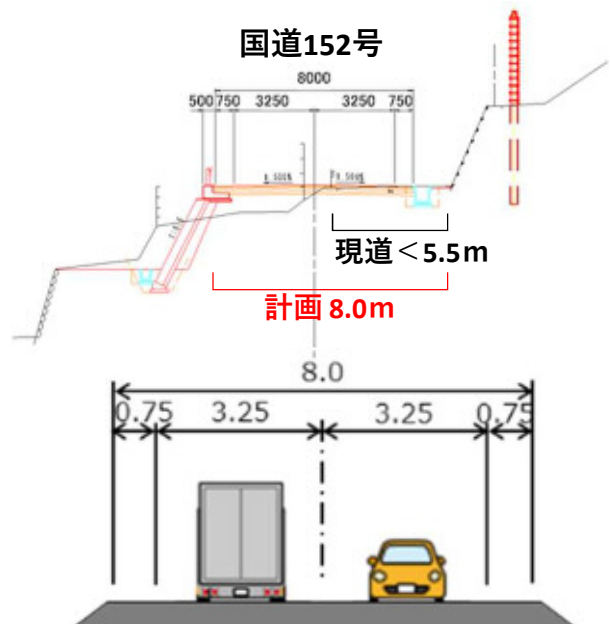
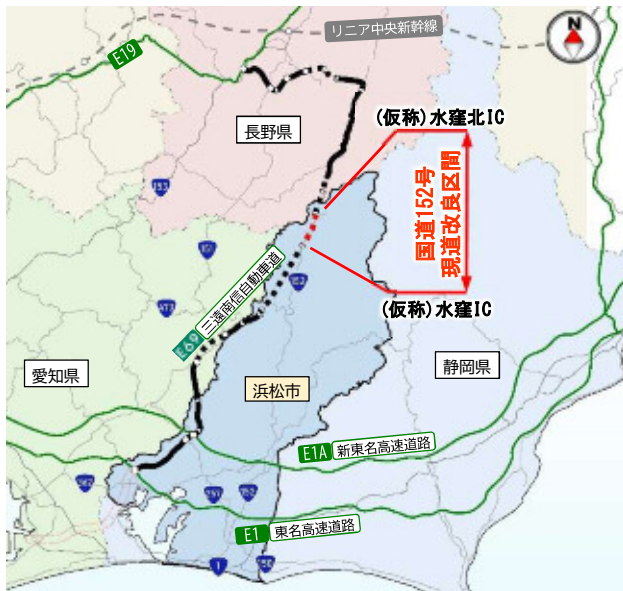
浜北大橋の断面図



道路整備

道路拡幅により災害時の円滑な緊急輸送を確保

- 広域幹線道路及び災害に強い道路ネットワークを確保するため、三遠南信自動車道の青崩峠道路と水窪佐久間道路の高規格幹線道路をつなぐ現道改良区間として、(仮称)水窪北IC～(仮称)水窪IC間の整備を推進しています。
- また、土砂崩れや落石の恐れがある箇所の対策工事を同時に施工することで、より災害に強い道路を構築します。



- ・現道改良区間は狭隘・線形不良による、すれ違い困難箇所多数
- ・防災対策必要箇所 18箇所
〔通行規制: 10回/5年〕

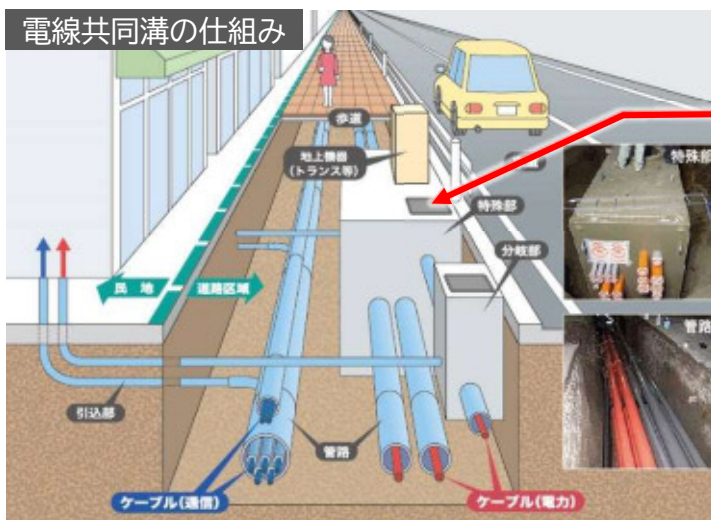
- ・狭隘、線形不良箇所を解消し安全・安心な道路を構築
- ・異常気象時事前通行規制区間が解消し、災害に強い道路を構築

無電柱化

緊急輸送道路や避難路など防災上重要な道路の無電柱化を推進

- 電柱の倒壊による道路閉塞を防止することにより、円滑な救急・救命活動や支援物資の輸送を可能とします。
- また、都心環状線を外周とした都心内部の道路や通学路など、交通安全上重要な道路の無電柱化を推進し、安全・安心な歩行空間の確保を図ります。

※都心環状線とは、国道152号、国道257号、市道竜禅寺雄踏線、市道早出寺脇線、市道植松和地線の主要幹線で構成する環状道路。



出典:国土交通省HP



- ・電柱の倒壊による道路閉塞の危険
- ・電柱による歩行空間の阻害
- ・無電柱化により、防災力強化、安全・安心な歩行空間の確保



浜松市

2023年10月

